

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第7区分

【発行日】平成19年3月29日(2007.3.29)

【公開番号】特開2007-39248(P2007-39248A)

【公開日】平成19年2月15日(2007.2.15)

【年通号数】公開・登録公報2007-006

【出願番号】特願2006-275250(P2006-275250)

【国際特許分類】

B 6 5 H 29/40 (2006.01)

B 6 5 H 29/22 (2006.01)

B 6 5 H 3/06 (2006.01)

B 6 5 H 83/02 (2006.01)

【F I】

B 6 5 H 29/40

B 6 5 H 29/22 Z

B 6 5 H 3/06 A

B 6 5 H 83/02

【手続補正書】

【提出日】平成19年2月14日(2007.2.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

紙葉類の集積処理及び繰出処理を行う紙葉類集積繰出装置であつて、
集積処理時と繰出処理時に紙葉類を搬送するフィードローラと、
前記フィードローラに対向して設けられ、前記フィードローラに合わせて自由に回転する
ゲートローラと、

前記ゲートローラと同軸に設けられて回転し、弾性部材からなる1枚以上の羽を備えた羽根車とを有し、

前記羽根車が、紙葉類の集積処理時に、紙葉類の繰出処理時よりも前記羽を広げる
紙葉類集積繰出装置。

【請求項2】

前記羽根車を、軸方向における前記ゲートローラよりも外側に備えた
請求項1記載の紙葉類集積繰出装置。

【請求項3】

前記羽根車を、軸に取り付けられる円筒状体に前記羽を備えた形状に、ゴム材で一体形成した

請求項1又は2記載の紙葉類集積繰出装置。

【請求項4】

前記羽を先端側ほど厚く形成して先端側を重くした
請求項1、2又は3に記載の紙葉類集積繰出装置。

【請求項5】

前記羽が、先端部が重くなるよう先端部に重錘部を有する
請求項1、2又は3記載の紙葉類集積繰出装置。

【請求項6】

前記羽根車の前記羽が、紙葉類の集積処理時の回転で、回転に伴う遠心力で広がるものである

請求項 1、2、3、4 又は 5 に記載の紙葉類集積装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

この発明は、紙葉類の集積処理及び繰出処理を行う紙葉類集積繰出装置であって、集積処理時と繰出処理時に紙葉類を搬送するフィードローラと、前記フィードローラに対向して設けられ、前記フィードローラに合わせて自由に回転するゲートローラと、前記ゲートローラと同軸に設けられて回転し、弾性部材からなる1枚以上の羽を備えた羽根車とを有し、前記羽根車が、紙葉類の集積処理時に、紙葉類の繰出処理時よりも前記羽を広げる紙葉類集積繰出装置であることを特徴とする。